

## 付録－調査票 A（団体用）

調査票 A

### 中央競技団体现況調査 2010

－競技人口・団体スタッフ数・財務状況調査－

社会情勢の変化にともない、わが国のスポーツをめぐる環境も大きく変わろうとしています。スポーツ団体においても、その変化への対応を余儀なくされていることと存じます。

こうした状況では、限りある資源を効果的に活用し、長期的視野にたったスポーツ振興策の推進に努めることが、スポーツ関係者に求められています。

笹川スポーツ財団ではこのたび、中央競技団体に関する情報を定期的に収集することといたしました。調査結果はわが国スポーツ振興のための基礎資料として皆様に還元するとともに、団体名・回答者名が特定されない形で公開いたします。

調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

2010年7月

#### 【調査実施】

笹川スポーツ財団

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-15-16 海洋船舶ビル 5F

Tel. 03-3580-5854 Fax. 03-3580-5968

E-mail [data@ssf.or.jp](mailto:data@ssf.or.jp)

#### 【共同研究者】

早稲田大学スポーツ科学学術院 教授 武藤 泰明

早稲田大学スポーツ科学学術院 准教授 作野 誠一

調査についてご不明な点は、電話または E-mail でお問い合わせください。

貴団体およびご回答者についてお答えください。

1) 団体名 [ ]

2) 担当部署名 [ ]

3) ご回答者名 [ ]

4) 電話番号 [ ]

5) E-mail [ ]

## I. 登録競技者数・競技人口に関する調査

問1. 貴団体には、わが国における当該競技種目の競技者またはチームの数を把握できる登録制度がありますか。

1. ある ⇒問2へ                      2. ない ⇒問3へ

【問1で登録制度が「ある」とお答えの団体におたずねします】

問2. 貴団体の最新の登録競技者数（審判や役員は含めない）をお答えください。

- 1) 登録競技者数 ※人・チームのいずれかに必ず○をつけてください。

人 ・ チーム （平成 年 月 日現在）

---

[内訳]

男性                      人・チーム                      女性                      人・チーム

- 2) 年代別、学校期別などの登録競技者数を把握されている場合は、以下にお答えください。

（関連資料を添付していただければ、ご記入は不要です）

記入例：小学生 ○人、中学生 △人、高校生 ×人、大学生 □人、社会人 ◎人

---

問3. 貴団体では、問1の登録制度とは別に、わが国における当該競技種目の競技人口を推計していますか。

1. 推計している ⇒問4へ  
2. 推計していないが、外部の資料を元にある程度把握している ⇒ 問4へ  
3. 推計しておらず、把握もしていない ⇒ 「II. 団体の運営スタッフに関する調査」へ

【問3で競技人口を「推計している」「把握している」とお答えの団体におたずねします】

問4. 貴団体の最新の推計競技人口（審判や役員は含めない）をお答えください。

- 1) 推計競技人口 ※人・チームのいずれかに必ず○をつけてください。

人 ・ チーム （平成 年 月 日現在）

---

[内訳]

男性                      人・チーム                      女性                      人・チーム

- 2) 競技人口の推計方法、あるいは参考にした外部資料をお答えください。（自由記述）
-

## Ⅱ. 団体の運営スタッフに関する調査

問1. 貴団体の人員構成についてお答えください。

雇用形態	男性 (人)	女性 (人)	雇用形態	男性 (人)	女性 (人)
1. 役員 (常勤 <sup>※</sup> )			2. 役員 (非常勤)		
3. 正規雇用者			4. 契約/嘱託職員		
5. 出向			6. 派遣職員		
7. アルバイト			8. インターン		
9. その他 ( )					
合 計					

※常勤役員は、フルタイムの勤務者に限らず、一定の頻度で団体の事務所に出勤し、執務を行う方をさします。

## Ⅲ. 団体の財務状況に関する調査

貴団体の2010年度、2009年度の収支予算書と2009年度の収支決算書をお送りください。  
予算書・決算書をWEB上で公開している場合は、そのURLを記載していただいても結構です。

URL (http:// )

以上で調査は終わりです。  
ご回答ありがとうございました。

本紙を下記住所宛に郵送でお送りください。  
(締切日：2010年9月30日(木))

お問い合わせ・送付先

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-15-16 5F 笹川スポーツ財団  
担当：渋谷・藤原  
TEL 03-3580-5854 FAX 03-3580-5968 E-mail data@ssf.or.jp

## 回答チェックボックス

- I. 登録競技者・競技人口に関する調査・・・・・・ 調査票A
- II. 団体の運営スタッフに関する調査・・・・・・ 調査票A
- III. 団体の財務状況に関する調査・・・・・・ 調査票A
- IV. 団体スタッフのキャリア等に関する調査・・・・ 調査票B  
(個人的な情報が含まれていますので、回収の際はご注意ください)

ご回答、ご提出資料に漏れがないか、ご確認ください。

## 付録－調査票B（個人用）

調査票B

### 中央競技団体现況調査 2010

－団体スタッフのキャリア等に関する調査－

社会情勢の変化にともない、わが国のスポーツをめぐる環境も大きく変わろうとしています。スポーツ団体においても、その変化への対応を余儀なくされていることと存じます。

こうした状況では、限りある資源を効果的に活用し、長期的視野にたったスポーツ振興策の推進に努めることが、スポーツ関係者に求められています。

笹川スポーツ財団ではこのたび、中央競技団体に関する情報を定期的に収集することといたしました。調査結果はわが国スポーツ振興のための基礎資料として皆様に還元するとともに、団体名・回答者名が特定されない形で公開いたします。

調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

2010年7月

#### 【調査実施】

笹川スポーツ財団

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-15-16 海洋船舶ビル 5F

Tel. 03-3580-5854 Fax. 03-3580-5968

E-mail [data@ssf.or.jp](mailto:data@ssf.or.jp)

#### 【共同研究者】

早稲田大学スポーツ科学学術院 教授 武藤 泰明

早稲田大学スポーツ科学学術院 准教授 作野 誠一

**この調査は、中央競技団体にお勤めの常勤役員※、正規雇用者、  
契約／嘱託職員、出向者の一人ひとりにご回答いただくものです。**

※常勤役員は、フルタイムの勤務者に限らず、一定の頻度で団体の事務所に出勤し、執務を行う方をさします。

#### 【全員におたずねします】

問1. 所属団体名 [ ]

問2. 性別            1. 男性                    2. 女性

問3. 年齢            (            ) 歳



問7. 現在の勤務先（出向先）の団体が扱う種目の競技経験はありますか。

1. ある ⇒ SQ1へ
2. ない ⇒ 問4で「4. 出向」以外の回答をされた方は問8へ  
問4で「4. 出向」と回答された方への質問は以上です。

SQ1. 競技歴\*はいつまでですか。（当てはまるもの1つに○をつけてください）

※ ここでの競技歴は、学校運動部などで、勝利を目指して競技に専念していた期間を意味します。楽しみ志向で続けている場合などは含めずにお答えください。

1. 中学校以前まで
2. 高校まで
3. 専修学校まで
4. 高専・短大まで
5. 大学まで
6. 大学院・社会人まで
7. 現役で競技を継続中
8. その他（ ）

SQ2. 競技レベルはどの程度でしたか。現役時代を通じて、もっとも高かったレベルをお答えください。  
（当てはまるもの1つに○をつけてください）

1. 国際大会レベル
2. 全国大会レベル
3. ブロック大会レベル
4. 都道府県大会レベル
5. 市町村大会レベル以下

問4で「4. 出向」と回答された方への質問は以上です。

【問4で「4. 出向」以外の回答をされた方におたずねします】

問8. 現在の勤務先に入職したときの年齢（満年齢）についてお答えください。

（ ）歳

問9. 現在の勤務先を選んだ主な理由を1つお答えください。

1. 仕事の内容に興味があった
2. 能力・個性・資格が生かせる
3. 勤務先の将来性が期待できる
4. 給料等収入が多い
5. 労働時間、休日等の労働条件が良い
6. 通勤が便利
7. とにかく仕事に就きたかった
8. その他（出向等を含む）（ ）

